

廣岡三従氏文書 (2) 概要

- 1: 文書群番号 115018-2
- 2: 文書群名 廣岡三従氏文書 (2)
- 3: 出所 廣岡九兵衛家
- 4: 家業・役職等
- 5: 地名 摂津国川辺郡東難波村／兵庫県川辺郡東難波村／川辺郡立花村東難波／尼崎市東難波／尼崎市東難波町ほか
- 6: 行政区分 尼崎藩領／兵庫県第10区／東難波組戸長役場／立花村／尼崎市
- 7: 歴史
難波には、「難波の七姓」と称する中世にさかのぼる旧家の系譜が伝えられる。廣岡姓はこの七姓のひとつであり、近世大坂の豪商として知られる加島屋・廣岡家の系譜も、さかのぼると難波の廣岡氏につながるとされる。
東難波の廣岡九兵衛家は、この廣岡姓の家の一つである。

以下、参考として、難波及び東難波の変遷を記す。
東難波は中央地区の大字であり、市域中央部、庄下川沿いに位置する。難波が戦国時代に東と西に分離したと考えられる。史料上の初見は永正年間(1504～1521)と推定される「宇佐永弘氏輔書状」(宇佐永弘文書/大分県史料5)で「ひかしなにハ」とある。仁徳天皇にまつわる難波の梅の伝説が伝えられている。
近世には、1615年(元和元)建部政長の領地となり、1617年(元和3)以降は尼崎藩領となった。村高は「慶長十年摂津国絵図」に1,206.823石、「元禄郷帳」に1,028.323石、「天保郷帳」に1,035.833石とある。また、天和・貞享年間(1681～1688)「尼崎領内高・家数・人数・船数等覚」(『地域史研究』第10巻第3号)には家数124軒、人数782人、1788年「天明八年御巡見様御通行御用之留帳」(『地域史研究』第1巻第2号・第3号)には121軒、560人とある。水利は大井組に属した。氏神は八幡神社(近世には八幡宮)、寺院は浄土真宗本願寺派浄元寺・同宗同派浄徳寺。
1889年(明治22)以降は立花村、1916年(大正5)立花村から西難波とともに分離して尼崎市と合併し、以降は尼崎市の大字となった。
- 8: 伝来 平成28年12月、廣岡三従氏より寄贈
- 9: 史料入手先 廣岡三従氏
- 10: 点数 156点(目録件数155件)
- 11: 年代 享保9(1724)～大正11(1922)
- 12: 構造と内容 系図や過去帳など由緒に関する史料が多いが、過去帳などは年代の分からないものが多い。幕末から明治期にかけては由緒調べをしたことがわかる。廣岡家では、先祖を武内宿禰としており、それを根拠に幕末から明治初期にかけて士族であることを認めるように願いをたびたび出している。さらに本文書群から、東難波の廣岡家と大阪の加島屋・廣岡家が、先祖をおなじくする家同士として明治期に至るまで深い関係にあったことがわかる。
また、葉書や書状などの書簡類が多く含まれ、これらについては目録のうで九兵衛・楢吉・その他と宛先ごとのシリーズ立てに編成した。これら書簡類を通して、年代により親戚関係などが移り変わっていくことがわかるほか、九平(九兵衛から改名)の息子楢吉の代に明石に出て商売をしていたことなど、明治期の廣岡九兵衛家の様子を知ることができる。
- 13: 関連史料 廣岡三従氏文書(1)(未整理)、廣岡恒次郎氏文書

14: 閲覧条件 原本 写真データ

15: 作成者 城戸八千代

この文書群概要について

- ・この概要は、従来の文書群概要に加え、記録史料記述の国際標準基準（ISAD(G)）に準拠して作成した概要です。
- ・ISAD(G)内の記述のうち、分かりやすくするために、「シリーズ記述」を「分類についての説明」としています。
- ・ISAD(G)は、General International Standard Archival Description の略です。
- ・この記述は、文書群の内容をより分かりやすくするために作成されたものです。
- ・「フォンド記述」については、従来の文書群概要で代替しています

（参考『記録史料記述の国際標準』（2001年、北海道大学図書刊行会））

分類についての説明

ID	タイトル	数量		記述レベル/資料内容
1	由緒関係	47	享保元～明治34	由緒書、系図、過去帳など。明治期の由緒調べについての文書も含む。
2	書簡(九兵衛・九平)	48	近世～明治30	廣岡九兵衛(後に改名して九平)宛の書簡類。父は九一郎。
3	書簡(櫛吉)	27	明治11～大正10	櫛吉は九兵衛の息子で、明石で商売を行っていた。三従氏の父櫛次郎氏は櫛吉の長男にあたる。
4	その他書簡	7	明治5～大正11	その他の書簡。
5	下肥	8	明治18～31	大阪廣岡家の下肥の処理を難波の廣岡家が行っていた様子が窺われる。大阪の借家人の下肥の処理も行っていたと思われる。
6	学校	3	明治7～12	学校に関する史料。小学校への寄附など。
7	民俗	4	明治16～27	天気や盗難よけのなじないなど民俗に関するもの。
8	家	1		礼金の書上げ
9	写真	3	近代	廣岡家の関係者の写真と明治天皇の銅像写真
10	訴訟	3	文化3～明治33	事実関係は不明であるが、何らかの訴訟らしき史料
11	納税	1	明治22	納税のため廣岡九平が地券を抵当にいった内容の葉書
12	御用金	1	天保14	天保14年の御用金の割賦控のうち、加島屋関係分のコピーである

ID	タイトル	数量		記述レベル/資料内容
13	戸籍	1	天保8	人別送り状
14	その他	1	近世	包紙のみ